

—シャフト部品の鍛造と熱処理—

株式会社ミヤジマ



環境経営レポート

2024年度

(対象期間：2024年1月1日～2024年12月31日)

アプセツト鍛造専門メーカー(滋賀)

削り出す
のは
もったいない!

汎用金型を使用すれば
「型代**ゼロ**」で
「型鍛造」できます!

【対応サイズ】

材料径	Φ20～Φ150
フランジ径	Φ320位
材料長さ	3400L

創業1929年

発行日：2025年2月10日

発行責任者：若松 健一

1 取組対象組織・活動

会社概要

- 事業者名

株式会社ミヤジマ
- 代表者

代表取締役 宮嶋 俊介
- 所在地

522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀1008番地
- 設立

昭和31年（1956年）12月20日
- 資本金

10,000千円
- 従業員数

男：41名 女：5名 （平均年齢 40歳）
- 事業内容

シャフト形状部品の据込み鍛造、熱処理、機械加工
- 製法特許

宮嶋式弁棒鍛造装置（特許No209965号）
- 主要製品名

・水道用・船舶用等ゲートバブルの弁棒

・建設機械、農業機械などのミッションの駆動軸

・工作機械、繊維機械、印刷機械など各種機械のスピンドル

・重電設備のシャフト形状導電部品（銅、アルミ）
- EA21対象範囲

全社でEA21を推進しています。（本社・工場）

■事業規模及び各種排出量の推移

活動規模	単位	2022年	2023年	2024年
生産高	t	6,159	5,495	4,760
売上高	百万円	1,567	1,601	1,417
従業員数	人	47	47	47
敷地面積	m ²	11,160	11,160	11,160
建物面積	m ²	4,210	4,210	4,210
二酸化炭素の排出量	Kg-CO2	2,097,095	1,858,805	1,636,857
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO2/百万円	1,338	1,217	1,155
廃棄物の排出量	t	26.98	25.22	20.20
水の使用量、排水量	m ³	3,054	3,054	2,226

* このレポートの環境活動期間は2024年1月1日から2024年12月31日の1ヶ年間です
* 当社の事業決算は2024年1月1日から2024年12月31日です
* 購入電力は、(株)Kenesuエネルギーサービスの調整後排出係数2020年度の0.564kg-CO₂/kWhを2023年度から2025年度の3ヶ年間固定します

■環境保全関係の責任者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者：若松 健一
連絡先：TEL 0749-48-0571 FAX 0749-48-1478
E-mail： post@miyajima.jp.com

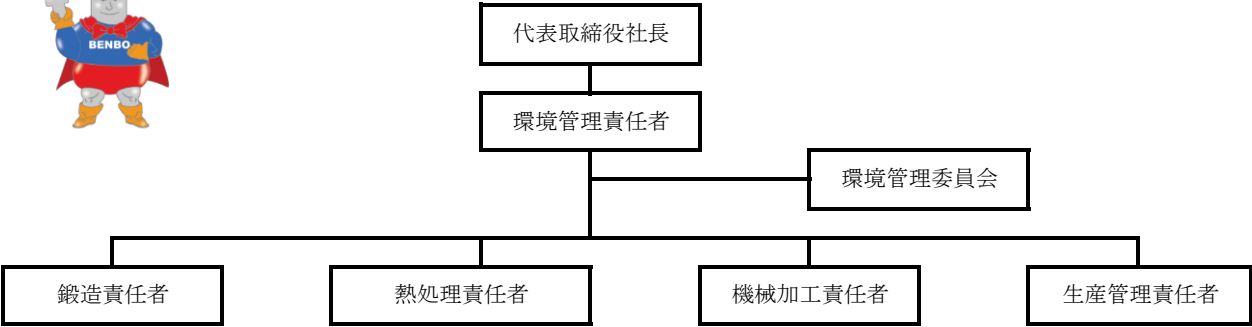


2 実施体制図

作成日： 2024年1月1日



EA2 1 実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
	⑥環境経営レポートを承認・発行する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点は是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA2 1事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA2 1事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社ミヤジマ

環境経営方針

環境方針

わたしたちは、日本の鍛造メーカーとして
社会のルールと地域の自然を守ります。

行動指針

当社は、滋賀県の湖東地域で鍛造、熱処理、機械加工等の事業を行っています。
この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、
従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に
努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取組み実施します。
 - ☆ 事務所・工場での電気使用量及び化石燃料の使用量を減し、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ☆ 廃棄物は「正しく」分別し、「正しく」処分すると共に、リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - ☆ 「削りだすのはもったいない」の言葉通り、金属だけでなくあらゆる資源を大切に節約します。
 - ☆ 水の使用量削減に取り組みます。
 - ☆ 化学物質は微量でも把握し、適正に管理します。
 - ☆ 地域環境保全活動に積極的に参加します。
 - ☆ 社員一人一人が社会のお手本となるよう継続的改善を実施します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。



代表取締役社長

宮嶋 俊介

制定日：2007年3月2日

改訂日：2021年1月1日

株式会社ミヤジマ

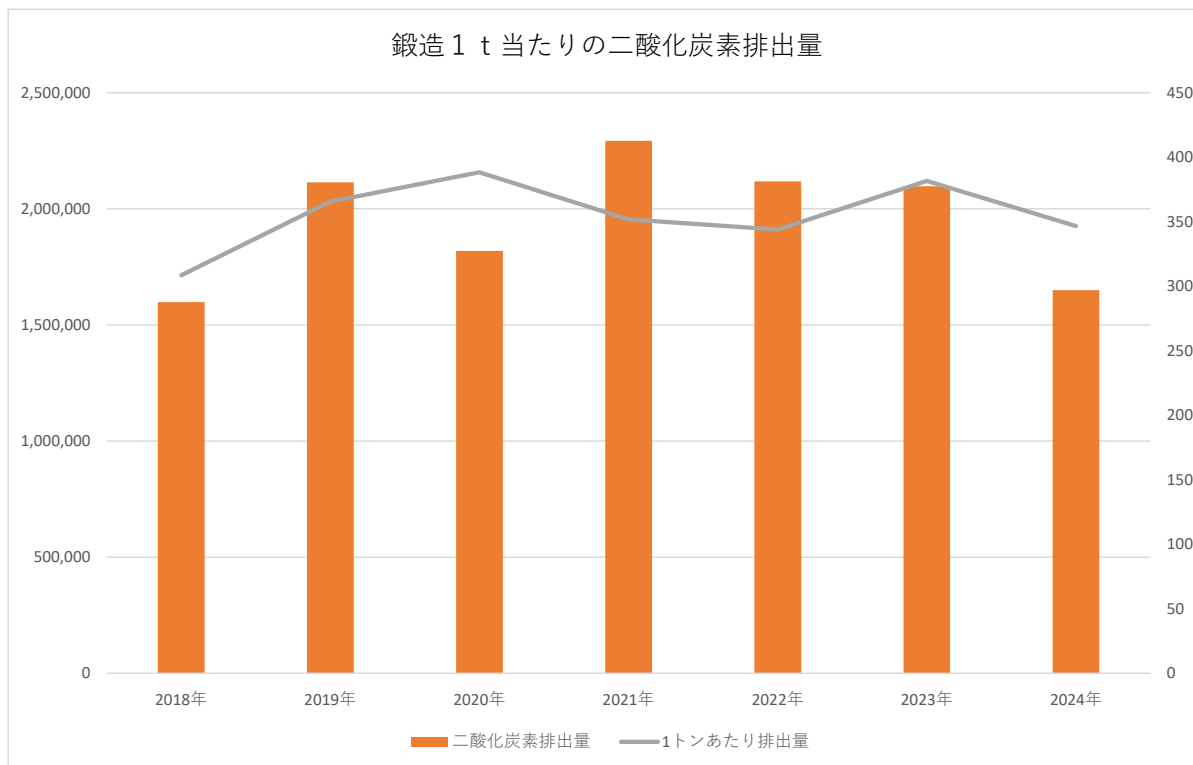
3 環境経営目標とその実績

エコアクション21は、2007年から取り組みしています。2022年度の実績を自己チェック等により把握し、その結果を基準値として、2024年度から2025年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2024年1月1日から2024年12月31日までの運用実績について取りまとめました。

		前年度		今年度		中長期	
環境経営方針	取組項目	年度	2022年 基準年	2023年度	2024年 取組年 2024年1月1日～2024年12月31日		2025年
		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
事務所・工場での電気使用量及び化石燃料の使用量を減し、二酸化炭素の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	目標・基準年度比達成率	100%	89%	98%	77.1%	97%
		使用量	3,351,770	2,967,567	3,284,735	2,583,295	3,251,217
		(kg-CO2)	1,890,398	1,673,708	1,852,590	1,456,978	1,833,686
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度比達成率	100%	127%	98%	115.2%	97%
		使用量	2,010	2,545	1,970	2,316	1,950
		(kg-CO2)	4,663	5,905	4,570	5,372	4,523
	軽油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度比達成率	100%	104%	98%	91.0%	97%
		使用量	12,589	13,104	12,337	11,461	12,211
		(kg-CO2)	32,479	33,809	31,829	29,569	31,505
	灯油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度比達成率	100%	76%	98%	80.1%	97%
		使用量	5,512	4,162	5,401	4,413	5,346
		(kg-CO2)	13,724	10,363	13,449	10,988	13,312
	重油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度比達成率	100%	92%	98%	88.4%	97%
		使用量	23,420	21,500	22,952	20,700	22,717
		(kg-CO2)	63,468	58,265	62,199	56,097	61,564
	LPG使用量の削減 (単位：kg)	目標・基準年度比達成率	100%	83%	98%	84.3%	97%
		使用量	30,788	25,585	30,172	25,966	29,864
		(kg-CO2)	92,363	76,755	90,516	77,897	89,592
二酸化炭素の排出量削減		目標・基準年度比達成率	100%	89%	98%	78.1%	96%
		(kg-CO2)	2,097,095	1,858,805	2,055,153	1,636,902	2,034,182
二酸化炭素排出量原単位 (CO2/百万円)		目標・基準年度比達成率	100%	89%	98%	86.3%	97%
		CO2/百万円	1,338	1,186	1,312	1,155	1,298
廃棄物は「正しく」分別し、「正しく」処分すると共に、リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：％)	目標・取組年度比達成率	－	－	－	103.25%	－
		(％/年)	91%	92%	92%	94.0%	92%
水の使用量削減に取り組みます。	事業所利用水の節水 (単位：㎡)	目標・基準年度比達成率	100%	99%	98%	72.9%	97%
		(㎡/年)	3,054	3,054	2,993	2,226	2,962
化学物質は微量でも把握し、適正に管理します。	化学物質の適正管理 (単位：回)	目標・取組年度比達成率	－	－	－	100%	－
		(適正管理/年)	12	12	12	12	12
地域環境保全活動に積極的に参加します。	地域美化活動に参加する。 (単位：回)	目標・取組年度比達成率	－	－	－	120%	－
		(参加回数)	10	12	10	12	10

目標の説明や補足事項

- 1 購入電力は、(株)K e n e s u エネルギーサービスの2020年度の調整後排出係数0.564kg-CO₂/kWhを2023年から2025年の3ヶ年間固定します
- 2 各化石燃料の省エネに取組み、使用量の削減に取組みます
- 3 廃棄物排出量は、総排出量を把握し、リサイクル率92%に取組みます
- 4 水使用量については、事務所・工場における上水道使用量の削減に取組みます
- 5 化学物質は、使用量が微量のため、SDSにて適正管理に取組みます
- 6 社会貢献活動は地域環境保全活動の美化活動に参加して実施します
- 7 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上ために3 S 活動（整理、整頓、清掃）に取組みます



4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
事務所・工場での電気使用量及び化石燃料の使用量を減し、二酸化炭素の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	① 電気使用量のデマンド監視 ② 熱処理炉余熱の有効活用 ③ 外段取り時間の短縮 ④ 不用時の消灯 ⑤ 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ⑥ エアコンの温度管理 (冷房28℃暖房23℃)	事務所 工場
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	① 暖機運転・アイドリングストップ ② エコドライブの励行 ③ タイヤ空気圧の確認 ④ フォークリフトの効率的な稼働	工場
	軽油使用量の削減 (単位：L)		
	灯油使用量の削減 (単位：L)	① ストープの温度管理 (冬季20℃±1℃)	
	重油使用量の削減 (単位：L)	① 炉の効率的稼働	
	LPG使用量の削減 (単位：kg)	① 炉の効率的稼働	
廃棄物は「正しく」分別し、「正しく」処分すると共に、リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：%)	廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する ② 無駄な資機材を購入しない ③ 使用済みコピー用紙を裏紙使用に努める	事務所 工場
水の使用量削減に取り組みます。	事業所利用水の節水 (単位：m³)	① 手洗い時の節水 ③ 水を流しながらの洗い物はしない	事務所 工場
化学物質は微量でも把握し、適正に管理します。	化学物質の適正管理 (単位：回)	① SDSによる把握 ② 化学物質の適正管理	工場
地域環境保全活動に積極的に参加します。	地域美化活動に参加する。 (単位：回)	① 琵琶湖の美化活動に参加 (コロナで未実施) ② 工場周辺の美化活動	事務所 工場

取組の紹介

- 1 地域環境保全活動は、琵琶湖の清掃や工場周辺の美化活動をボランティアで行う活動です。
- 2 各人が意識して廃棄物を分別し適切に処理を行うことでリユース・リサイクルを徹底する。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

評価欄：○目標達成、△目標未達成（105%以内）、×目標未達成

環境経営方針	取組項目	2022年 基準年	2024年 取組年 2024年1月1日～2024年12月31日		評価	取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績)			
事務所・工場での電気使用量及び化石燃料の使用量を減し、二酸化炭素の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	目標・基準年度 比達成率	98%	77.1%	○	基準年に対し、77.1%と目標を達成した。要因は、鍛造生産重量が前年対比87%となり生産重量重量以上の減少となった。	事務所 工場
		使用量	3,284,735	2,583,295			
		(kg-CO2)	1,852,590	1,456,978			
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度 比達成率	98%	115.2%	×	目標比 ガソリン：15.2%増 軽油：7%減 灯油：18.9%減 重油：10.6%減 LPG：14.7%減 前年対比 ガソリン：9%増 軽油：12.5%減 灯油：9%増 重油：3.7%減 LPG：1.4%増 全般に目標値に対して概ね達成した。 要因としては、鍛造生産重量が22年度比22.7%減となったこと大きい。 前年対比でみると鍛造生産重量23年度比13.3%減であるが、生産量の落ち込みに対して減少していない。	工場
		使用量	1,970	2,316			
		(kg-CO2)	4,570	5,372			
	軽油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度 比達成率	98%	91.0%	○		
		使用量	12,337	11,461			
		(kg-CO2)	31,829	29,569			
	灯油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度 比達成率	98%	80.1%	○		
		使用量	5,401	4,413			
		(kg-CO2)	13,449	10,988			
	重油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年度 比達成率	98%	88.4%	○		
		使用量	22,952	20,700			
		(kg-CO2)	62,199	56,097			
	LPG使用量の削減 (単位：kg)	目標・基準年度 比達成率	98%	84.3%	○		
		使用量	30,172	25,966			
		(kg-CO2)	90,516	77,897			
二酸化炭素の排出量削減		目標・基準年度 比達成率	98%	78.1%	○		
		(kg-CO2)	2,055,153	1,636,902			
二酸化炭素排出量原単位 (CO2/百万円)		目標・基準年度 比達成率	98%	86.3%	○		
		CO2/百万円	1,312	1,155			
廃棄物は「正しく」分別し、「正しく」処分すると共に、リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：%)	目標・取組年度 比達成率	—	103.25%	○	事業に伴う廃棄物は分別、リサイクルを実施。事務所のゴミも分別、リサイクルを心がけた。	事務所 工場
		(%/年)	92%	93.96%			
水の使用量削減に取り組めます。	事業所利用水の節水 (単位：㎡)	目標・基準年度 比達成率	98%	72.9%	○	事務所、工場全員が手洗い時の節水や水を流しながらの洗い物はしないなど節水に心がけた。	事務所 工場
		(㎡/年)	2,993	2,226			
化学物質は微量でも把握し、適正に管理します。	化学物質の適正管理 (単位：回)	目標・取組年度 比達成率	—	100%	○	SDS月1回確認した。	工場
		(適正管理/年)	12	12			
地域環境保全活動に積極的に参加します。	地域美化活動に参加する。 (単位：回)	目標・取組年度 比達成率	—	120%	○	月1回美化活動を全員で行った。	事務所 工場
		(参加回数)	10	12			

今年度の主な環境経営計画の実績・取組結果の内容

- 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、アイドリングストップやエコドライブ、フォークリフトの効率的な稼働等の目標達成手段を実施した
- 廃棄物は分別を実施して削減、総量を把握し、リサイクルに努めた
- 水使用量の削減では、手洗い時の節水や流し放しで使用しないように努めた
- 環境美化活動は計画通り環境保全活動の美化活動に参加した

次年度の主な環境経営計画の内容

- 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、アイドリングストップやエコドライブ、フォークリフトの効率的な稼働等の目標達成手段を実施する
- 廃棄物は分別を実施して削減、総量を把握し、リサイクルに努める
- 水使用量の削減では、手洗い時の節水や流し放しで使用しないように努める
- 環境美化活動は計画通り環境保全活動の美化活動に参加する
- 環境経営目標の達成取組と共に、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組み、意識を持って全員で実践する

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反や訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況		
法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
騒音規制法	特定施設の届出、騒音規制値の遵守	遵守
振動規制法	特定施設の届出、振動規制値の遵守	遵守
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	公害防止統括者、公害防止管理者の選任届	遵守
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、委託契約書、マニフェスト管理、適正保管	遵守
消防法	対象危険物貯蔵所の設置届出、管理	遵守
水質汚濁防止法	特定施設の届出、水質規制基準の遵守、事故時の措置	遵守
下水道法	特定施設からの排水を公共下水道に排出する場合の届出	遵守
大気汚染防止法	ばい煙、粉塵を発生する特定施設の届出、排出等規制基準の遵守	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検、定期点検、点検記録の保存	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年は景況厳しく、一つの注文に対する注文本数は減少、段取り回数は多くなる中、生産効率は何とか保ち、評価が「○」が多いことに皆さんの努力感じます。ありがとうございます。
今後もごみの分別やアイドリングストップなど、やろうと思えば誰にもできることを当たり前に行うことで、社員一人一人も社会のお手本となり、名実ともに環境にやさしい会社を目指していきましょう。

環境経営方針	☐ 変更あり	☒ 変更なし
環境経営目標・計画	☐ 変更あり	☒ 変更なし
実施体制	☐ 変更あり	☒ 変更なし